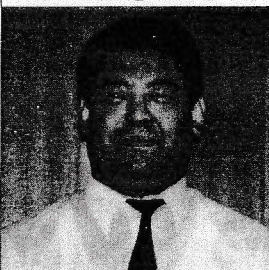


同窓生シリーズ

16



第24回生 佐藤栄作氏

昭和47年卒業
昭和28年新宿区早稲田町生れ
早稲田大・政経学部卒
住友生命日本橋支社
法人開発推進部長

入学は昭和四十四年。旧校舎で入学式がありましたが、印象的なことが三つありました。

まず、新宿のど真ん中でトイレが汲みとりだったこと。次に、体育館以外は靴をはいたままでよかったです。三つ目は、講堂に鳩がいて、クック、クウという鳴き声をきながらの入学式でした。何て自然で有難いなと思

った記憶があります。運動神経がなく、化学部に入りましたが、同じ日に、友達が水泳部に入るといのでついていくと、怖そうな先輩に「お

悔しさがやる気につながった例です。一年の初めは旧校舎でしたが、夏休みが終ると新校舎(いまの校舎)に入りました。ちょうど学園紛争で揉めたりしていて、学校へいっても出席だけとって、討論会とかいって、国家権力がどうのこうのとクラスで演説するタイプの人間がいて、おもしろくなかったので出ないといったら、いいといわれたので、それ以後、友人四人とやったださやかな抵抗が麻雀でありました。こんな生活が一ヶ月続いてへんに先生と生徒が敵対して、あんな討論会をやっても結局まあまあという結論で、なんとなく収まってしまった感じがします。

三年の時の担任が、化学の福島先生でした。受験相談を親父と一緒にうけまして、「先生、浪人すれば受かりますか」と聞きますと、「人により

ますからね」といわれ、それ以上言葉がでませんでした。「こんなに成績が悪いなら来るのでなかつた」と親父に怒られ、私も「こんなに悪い成績とは思いませんでした」といいました。で、予備校に入りまして、Aクラスで、「俺よりできねえやつが沢山いるんだ。新宿高校というのは凄いや学校だな」と、変なプライドがありました。

早稲田の政経に受かって報告にいったら、ちょうど、もつとできるやつが「落ちました」と報告に来ていて、私が「受かりました」といいますと福島先生に「おまえ、冗談はやめなさい」といわれましてね。

大学に入って何が嬉しかったかというところ、OB面して一年生の臨海学校に行けるということでした。そのおかげで私のかみさんになる人に会う

お忙しい中を朝陽会館に駆けつけていただいてのお話。ウェアイタリテイとユーモアに溢れていて、私たちもどんと気が大きくなった感じがいたしました。